

# ほほえみだより

吉田保育所 平成24年10月



楽しく遊びけど、0才児だって主張し、ぶつかります。家庭では経験しない他者とのぶつかり合いです。これは、思い通りにならないことがあるってことを学ぶ、大事な経験です。

今、0才児保育は働く親のためだけではなく、子ども自身の成長のために必要だと言われます。家庭だけでは他者との関わりが不足するからです。

## 運動会の会場が、美都町“さくらドーム”の理由

以前は近くの吉田南小学校の校庭をお借りしていましたが、21年度は体育館改修工事のため利用することができず、検討の末“さくらドーム”を利用しました。すると、直射日光や強い風、砂埃等もなく、乳児や高齢のご家族も快適に過ごすことができ、「今後も運動会はさくらドームで!」というご意見を多数いただきました。

22年度はドームの予約が取れず小学校で開催しましたが、以後予約が取れる限り“さくらドーム”で開催することにしました。

ドームは、テントを張る必要も、雨の心配もなく安心ですが、会場までちょっと距離があります。交通の便がなくてお困りの方は、お知らせください。個別に対応を検討させていただきます。

## 遠足の行先が、“真砂”の理由

遠足は、以前は「アクアス」「船方牧場」「下関水族館」などにも行ったことがあるのですが、低年齢の子には遠すぎたり、雨天時のお弁当会場確保が難しかったりして、行先選びは悩みの種でした。

そこで、距離を考え、保育的・教育的観点からも考慮して、集団だからこそ行って楽しめる所ということで、真砂に決めました。

真砂は、毎年さくら組さんが稲作を体験しているところです。給食のお米も野菜も真砂が産地です。

その真砂に親子で行って、新米をカマドで炊いて、おにぎりをつくって食べます。お米は、育った地のお水で炊いて食べるのが一番美味しいのです。

第1回目の真砂の遠足は、おかず持参、新米を現地炊いておにぎりを作りました。2回目はおにぎりに豚汁を追加しました。そして、3回目から秋刀魚の炭火焼きが加わって、お弁当不要のスタイルが定着しました。更に去年は真砂地域の方々のご協力により、親子で野菜の苗植えや、柿やさつま芋の収穫も体験しました。

つくること、食べることの楽しさを親子で味わい、食と農の大切さを五感で体感する遠足が、吉田保育所の遠足です。そのためのフィールドが真砂なのです。

保育所の集団だから体験でき、学びも収穫も多い親子遠足です。親子でのんびり、のびのび楽しんで下さい。



『ほほえみだより』『給食便り』はホームページでもご覧いただけます。 <http://hohoemi-yoshida.com/>

吉田保育所

検索

## 10月の予定表

- 2日(火) 運動会予行練習
- 7日(日) 運動会…会場は美都町：さくらドームです。
- 12日(金) 原浜保育所との交流保育(さくら組) りんご狩り(徳佐)へ行きます
- 13日(土) 保護者会懇親会(うんどうかい打上げ・反省会) 会場は「海鮮丸」です。ご参加ください。
- 16日(火) 誕生会
- 17日(水) 音楽で遊ぼう!(さくら組・すみれ組)
- 18日(木) 避難訓練
- 19日(金) 英語で遊ぼう!(さくら組)
- 25日(木) 健康診断
- 28日(日) 親子遠足…全クラスの親子対象です。
- 29日(月) 劇団すぎのこ人形劇…グラントワで観劇します。豊川保育園・神田保育園・若葉保育園と合同です。
- 31日(水) 音楽で遊ぼう!(ゆり組・もも組2才児)



## 10月生まれのおともだち

5日	大庭 めいさん	5才
9日	堀本 しょうたさん	1才
15日	戎野 そうすけさん	2才
19日	江野本 ひなさん	4才
20日	花房 たくみさん	5才
22日	桑原 ゆづきさん	5才
26日	牛尾 あかつきさん	6才
26日	河上 しょうたさん	2才
28日	田島 てっせいさん	1才

おめでとうー。



## 10月以降の「保育体験&給食試食」と「個人面談」

月	保育体験&給食試食	個人面談
10月	すみれ組	もも組 1才児
11月	さくら組	つくし組

◆個人面談はクラスごとに指定月を設けていますが、必要があれば指定月以外でも時間をとります。お気軽にご相談下さい。

◆指定月に保育体験ができなかった方は、随時受け付けます。必ず、一度は「保育体験&給食試食」にご参加下さい。

## 新しいお友だちをご紹介します

**澄川せいや**さん(0才児) 10月1日~  
つくし組に仲間入り! みなさまどうぞよろしく!



## 退所のお知らせです

さくら組 **原ゆうと**さんは 9月24日に退所され、ご自宅に近い“わかさ保育園”に転園されました。同じ市内ですから出会うこともあると思います。出会ったら声をかけて下さいね!

吉田保育所に野菜を納入して下さっている真砂の生産者さんからいただいたお手紙を紹介します。

“益田市内の保育所に有機野菜を届けよう”“子ども達に安心安全な野菜を食べてもらおう”この目標をかかげたこの一年。「農薬で害虫退治がしたい!」と思う日も我慢して取りくみ、農薬は使いませんでした。

この夏は雨が極端に少ないこともあって、キャベツ、ナス、ピーマン、カボチャなどにカメムシ、ハダニ、テントウムシダマシ、ウリバエ等たくさん害虫が発生しました。ごそごそと動き回る害虫を見つけ次第、指ですりつぶしました。葉の表を見て退治して、ひっくり返して裏を見て退治しているうちに、半日かかることもありました。

農薬散布は害虫を殺傷し、きれいな野菜ができますが、虫たちの中枢神経を麻痺させる恐ろしい薬です。許認可された安全な薬とはいえ、私たち人間にも良いはずがありません。農薬散布をしない安全で健康な野菜を、未来を担う子ども達に提供することは、私たち生産者の使命でもあるように思います。健康な土から生まれる健康な野菜、それらを食べて健康に育て欲しいと、心から願っています。

過日、吉田保育所の子ども達と給食を一緒にいただく機会がありました。「真砂の野菜作りのおばあちゃん達だ」と大歓迎されました。あどけない、屈託のない明るい表情の園児たちと共に、彩りよく、おいしく味付けされた給食を、とても楽しく頂きました。

これからも、常備野菜は無論のこと、多様な緑黄色野菜を育てるために、公民館の有機栽培研修会などに学び、健康な土づくりを基本として、色艶良く、味も良い、無農薬、無化学肥料栽培を目指します。

園児たちの笑顔を思い浮かべながら、日々努力を重ねたいと思っております。

どんどん体が成長する乳幼児期の子ども達です。言うまでもなく、食べた物が血となり肉となり骨となって体が育ち、同時に心が育ちます。そして、どんな物を食べたらいいのかということ、目鼻舌の五感で覚える時期でもあります。

生涯を健やかに幸せに生きることができるよう、子ども達の食を大事にしていきましょう。**朝食は“ごはん”がおいしいですよ!!**  
**朝食持参の場合はできるだけ“おにぎり”をお願いします。**